



設立30年記念号

No.102
2018

みゆきタイムズ

MIYUKI

TIMES



これからのみゆき会病院

社会医療法人みゆき会
理事長 武井 寛

地域の皆様に支えられ、みゆき会病院はこのたび設立30年を迎えさせていただきました。初代理事長原田順二の時代から、当院は地域に貢献することだけがその存在意義ですので、これからもぶれることなく、その歩みを続けてまいりたいと考えております。当院は設立以来、時代に先駆けて高齢の方々が安心して自らの身体（健康）をまかせることのできる地域ネットワーク作りに邁進してきました。医療のIT化がますます進む将来は、病院・各施設・地域の診療所・ご自宅を繋ぐ文字通りのネットワークが構築され、自宅や施設にしながら診察を受けることのできる遠隔医療や、切れ目なく利便性の高い生活サポートシステムが作られていくことになるかと思えます。みゆき会病院は、その母体である社会医療法人みゆき会と共に、上山市並びに周辺地域における「地域包括ケアシステム」の中核として、その役割をさらに大きなものにしていく所存です。

さて、高速交通網が完成する今年度以降は、人の出入りがますます活発になるでしょう。当院には現在でも周辺地域の方々のみならず、古くから羽州街道で馴染みのある七ヶ宿町をはじめとした宮城県やお隣の福島県、新潟県、そして関東にお住いの患者様にもご利用いただいております。その流れをさらに大きなものにしていきたいと考えております。そのためには周辺市町村との連携をますます強くする必要があります。治療に来たついでに観光も、となれば地域にとって一石二鳥ですし、おいでいただく患者様にもメリットがあることでしょう。山形大学医学部の重粒子線治療が開始されると、海外からの医療ツーリズムに伴うインバウンドの拡大も期待されます。上山市と周辺地域には海外からも多くの視線が注がれることになるはずで、上山市一押し「クアオルト」は、生活習慣病予防のためにも望ましいものですから、当院職員も積極的に参加させていただいております。上山市弁天地区に設立される予定のクアオルト中核施設には、当院としても大いに協力させていただきたいと思えます。

そして当院が貢献すべき地域の発展のためには、何より子供達の健やかな成長が不可欠です。当院は子供達の健康を守るだけでなく、将来の病気（生活習慣病）の予防のためにも地域のスポーツ活動に積極的に関わっていきたいと思えます。そのためにも、スポーツ医学を発展させていきたいと考えています。また、地域には文化的な活動も必要です。院内ギャラリーをますます充実させたいと思えます。実は私の野望の一つに、病院4階のみゆきホールにスタインウェイのピアノを設置することがあります。地域の先生方をお願いして子供達の音楽教室や、院内コンサートができれば、文化拠点の一つにもなるのではないのでしょうか。

今年の夏は大変暑かったですね。地球温暖化のせいか、世界中の気象が激しくなっているようです。その中で、山形県の村山地域には今のところそれほど大きな災害は起きていません。しかしいつまでその安全が続くかは、誰にもわかりません。災害に強い病院・組織作りを引き続き行ってまいります。不幸にも災害が生じた際には、災害医療の拠点として機能を発揮できるよう、準備を怠らないように努めたいと思えます。以上、これからの当院の方向性を表明させていただきました。これまでの30年、当院をご支援いただき誠にありがとうございました。これから30年後にも、地域とともに発展しているみゆき会病院であり続けられるよう、職員一同、さらに努力を重ねて参る所存です。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



愛されるみゆき会病院を目指して

病院長 安藤 常浩

今年には前身の『蔵王みゆき病院』が開設されて30年目になります。平成元年6月、前理事長の原田順二先生が95床で開設されました。私はまだ山大医学部の学生でしたが、新病院を案内していただき『いい病院を作る』と当時原田先生が話していたことを記憶しています。平成5年医療法人として『みゆき会』が発足、その後介護老人保健施設『みゆきの丘』、次いで『紅寿の里』が開設され、病床数が現在の183床へ増床を契機に当院の名称が『みゆき会病院』に変更されました。

さて皆さんは『みゆき公園』に行かれたことはあるでしょうか？病院に近く斎藤茂吉記念館がある公園で桜の名所でもあります。茂吉の生家（金瓶）に近く生前に度々訪れていたとのことですが、ここは須川のほとりで蔵王連峰が一望できる景勝地であり、明治14年明治天皇東北巡幸の際に小休所が設けられたことから、『みゆき（御幸）公園』と名付けられました。当院からも、崇高な蔵王の眺望と西側の葡萄畑や上山市を囲む山々の美しくも優しく包み込むような自然の景色が見渡せます。私は約30年ぶりに東京より山形へ戻りましたが、この『みゆき会病院』からの風景に時に感動し外を眺めることもしばしばあります。茂吉の目にはもっと美しく映っていたことでしょうか。

来年は30年の節目を迎えます。『みんなに愛されるいい病院にしたいです』









地域の皆様と共に歩むみゆき会病院

社会医療法人みゆき会 参与 原田 順二

今年度、みゆき会病院は30年目を迎えました。これも、ひとえに地域の皆様のご理解とご支援、そしてこの病院に貢献して下さった数多くの医師、看護師、リハビリスタッフ、その他全ての職員の皆様の献身的な努力の賜物と、心より深く感謝申し上げます。

振り返れば、私が42歳、当初は様々な不安を抱えながらも、山形大学医学部の数多くの先生方の多大なるご協力とご指導をいただき、上山市に密着した中核的医療機関になることを目指し、平成元年6月に「蔵王みゆき病院（旧称）」を設立しました。当初は95床、約60名余りの職員での船出。開設当初は、各種許認可の取得や医療機器の整備、マンパワーの確保と質の向上など、病院内の様々な整備で精いっぱいでしたが、現在は病床数も183床となり、職員も法人全体で600名余り、高齢社会の到来に伴い数多くの介護事業所を抱え、更に地域に貢献できる社会医療法人となりました。

30年という長い年月の中で、社会状況も大きく変化しました。我々みゆき会は、常に時代の流れを察知し、必要な医療・福祉サービスを地域の皆様に提供できるよう頑張って参りました。その姿勢はこれからも変わりません。地域の皆様にとって必要不可欠な存在で在り続けられるよう、今後も努力して参ります。

	1989年(平成元年)	1990年(平成2年)	1991年(平成3年)	1992年(平成4年)	
法人沿革	<ul style="list-style-type: none"> 蔵王みゆき病院開設 「テーマは“愛”」 	<ul style="list-style-type: none"> CT導入 	<ul style="list-style-type: none"> 院内報「みゆき」創刊…後の「みゆきタイムズ」 現在の法人CIの原点となる病院マークが決定される 原田Dr訪問診療スタート 外来NSを中心に訪問看護スタート   <p>当時の訪問看護</p>	<ul style="list-style-type: none"> 病院外来にて予約制が導入される <p>この人は…?</p> 	
	<ul style="list-style-type: none"> 原田順二が病院長に就任…当時は95床、職員60名余り  <p>原田順二</p>				

法人沿革はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.miyuki.or.jp/>

開設30年にあたって～花笠祭恋舞の記～

副院長 佐藤 伸二



病院開設30年おめでとうございます。

これまで病院を支えられてきた皆様に深大なる敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

開設当時、私は山形大第三内科で血液学の研究・臨床に励んでいました。ほどなく、神経内科の後輩が当時まだ新しい技術をもってみゆき会病院に赴任、そのために高額な器械を導入してもらったとの話を聞いて、進取の精神をもつ気概ある病院だなと思ったのを覚えています。

その後、同門の医局から赴任が続きますが、私は、公立置賜総合病院へ移った後、昨年からは当病院に勤務しています。新しい職場でたくさんの新鮮な経験をさせていただいていますが、「みゆき会の花笠踊り」もそのひとつで、昨年は花笠祭りの観客席から応援、今年は何と！踊り手としてパレードに参加させていただきました。

大学病院の研修医時代に踊ったこともあり、みゆきホールでの練習に軽い気持ちで参加したものの、その熱気や笠踊りの激しさに圧倒され、昨年のパレード参加は見合わせましたが、今年は一大決心して部隊（「恋舞隊（れんぶたい）」といいます）の一員として（正調組です）七日町の花道を踊り抜けさせていただきました。

昨年から思っていたことですが、練習場での皆さんの職場とは違った顔の発見、その生き生き感が、驚きとうれしさと頼もしさを感じさせてくれます。体力の減退を感じつつ参加させていただいた理由もその辺にあります。

小雨の中の行進、ゴールの文翔館に入った部隊の面々は充実感に満ちていました。打ち上げのビールの味が格別だったことは言うまでもありません。病院、丘、紅寿、本部など様々な部署、理事長や施設長をはじめ様々な職種職員の連合体の団結の輪、強い絆を感じたひとときでした。

30年の節目の年にあたり、われわれみゆき会はいまこそ団結の輪を強くして、一人一人が30年の重みを誇りに、地域医療の担い手として責任とやりがいを感じつつ、地域の未来を築くため、意欲をもって進んでいきましょう。

関係各位には、今後ともご指導ご鞭撻ご支援をお願い申し上げます。

病院開設30年、誠におめでとうございます。

“愛”の名のもとに






社会医療法人みゆき会 事務局長 山崎 保



「テーマは『愛』」のキャッチフレーズのもとに、総勢60名のスタッフが集い、平成元年6月に蔵王みゆき病院（95床）は開院しました。

以来、30年のうちに他の医療機関では関わるのが少ない数々の貴重な経験をさせていただきました。医療法人化、介護老人保健施設の開設、特定医療法人、病院増床、社会医療法人化などなど。『愛』をもったスタッフがチームで走ってきた軌跡と、スタッフの一人として、ご一緒させていただいた先輩方に感謝の気持ちで一杯です。

最近特に、急激な社会環境の変化に適應できるよう努めねばと痛感します。今後ともよろしくお願い申し上げます。

1993年(平成5年)	1994年(平成6年)	1995年(平成7年)	1996年(平成8年)	1998年(平成10年)
<ul style="list-style-type: none"> 法人を設立「医療法人社団みゆき会蔵王みゆき病院」となる 原田順二が理事長に就任 	<ul style="list-style-type: none"> みゆき保育園開園  	<ul style="list-style-type: none"> 老人デイケアオープン…後に「みゆきの丘 通所リハビリテーション」に統合される 院内報「みゆき」が「みゆきタイムズ」へ名称変更 	<ul style="list-style-type: none"> MR I 導入 院外処方箋開始 介護老人保健施設みゆきの丘開設 かみのやま訪問看護ステーション開設   <p>現在のみゆきの丘</p>	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパス導入 <p>クリニカルパスとは、治療や検査の標準的な経過を説明するため、入院中の予定をスケジュール表のようにまとめた入院診療計画書</p>

みゆき会病院の未来と看護の役割



看護部長 川井ひろみ

みゆき会病院が創立30年を迎えることにつきまして、諸先輩方のご努力で今日まで築き上げてくださったことに、心より感謝申し上げます。

2025年は少子超高齢化社会と言われていています。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるようにと、住まい・医療・介護・予防・生活支援の5つで構成された地域包括ケアシステムの構築が図られていて、共助、公助だけでなく自助、互助も重視されています。そして、医療は病院完結型から地域完結型を目指し、我々には、生涯にわたり生活と保健・医療・福祉をつなぐ看護が求められています。

当院では、2017年より看護学生の実習を受け入れており、10名の実習指導者講習修了者を中心として、スタッフ全員で学生指導に携わっています。また、新人看護師研修をはじめ、2年目、3年目看護師、中堅看護師、看護補助者などの研修を計画的に開催し、継続教育を行っています。院内外の研修にも積極的に参加し、看護実践だけでなく、広い分野で自己研鑽に努めています。職場環境においては、世代や職種間のコミュニケーションを大切に、風通しの良い職場作りに取り組んでいます。これからも医療・看護の質の向上に努め、地域の皆様から信頼され、安全で安心な医療を受けていただける病院、また職員が長く働き続けられる病院を目指して努力していきたいと思います。

管理当直の思い出と自分達の病院





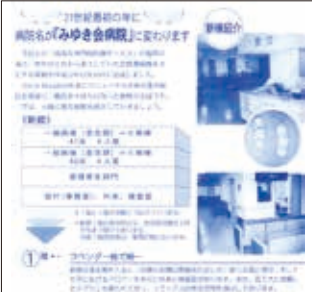


管理部長 奥山 弘之

病院の時間外や休日の窓口受付・機械設備の管理については、現在、警備会社であるスリーエスさんをお願いしていますが、それ以前は管理当直として、病院に所属する男性職員が担当していました。私達事務職の男性だけでは人数が足りず、放射線技師や調理師、相談員等も男性であれば例外無く当直をしました。記憶が定かでないところもありますが、平成元年より平成16年頃まで続いたと思います。

管理当直の大きな思い出が二つあります。一つは夜間の巡回です。夜9時に施錠と併せて院内全館を一人で巡回しました。俗世間的には夜の病院＝恐怖的イメージが定着していますが、決して怖くなく、まるで自宅のように淡々と巡回した覚えがあります。もう一つは火災報知器の誤作動です。当病院は昔ぶどう畑に囲まれており、小さい虫が病院内によく侵入し、煙感知器の誤作動を誘発したものでした。サイレンが鳴り響くと夜中に跳び起き、懐中電灯を片手に、誤作動を起こしている感知器を病院中探したものです。当直一人体制の状況で、誤作動を起こしている機器を見つけ対処するまで、サイレンは止まらないので必死でした。

一人の夜の巡回が怖くなかったのも、サイレンを必死で止めていたのも、今思えば、この病院は自分達の病院、と強く思っていたからだと思います。管理当直の業務はスリーエスさんに引継ぎましたが、自分達の病院という誇りはこれからも持ち続けたい。管理当直の思い出は、そんな初心を呼び起してくれた気がします。

1999年(平成11年)	2000年(平成12年)	2001年(平成13年)
<ul style="list-style-type: none"> ケアサポート蔵王開設 解析付心電計導入 運動負荷心電図導入  <p>相談風景</p>	<ul style="list-style-type: none"> webサイト開設 ヘリカルCT導入 介護保険法スタート 	<ul style="list-style-type: none"> 介護老人保健施設 紅寿の里開設 ケアサポート紅寿開設 在宅介護支援センター紅寿開設 Art in Hospital構想を提唱 みゆき会病院に名称変更 リニューアル完成…増設し183床となる 療養型病床群設置 地下水膜濾過システム導入 超音波診断装置バージョンアップ  <p>紅寿の里</p>
		 <p>Art in Hospital</p> 

みゆき会病院設立30年を迎えてリハビリ部門の変遷に思う

リハビリセンター センター長 多田 利信



30年というと丁度平成と同じ年月ですから、結構な歴史を感じざるを得ないと思います。昭和を知らない世代が増える今、はるか昔のようにも思いますし、この間を必死で走ってきた自分達にはあつという間の気もします。因みに理学療法士としての自分のキャリアは今年で35年、うち障害児の療育分野にいた最初の5年を除けば、この病院と同じ時間を一般医療の医療職（療法士）として歩んできたこととなります。

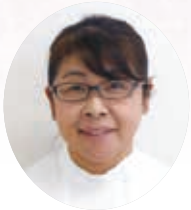
平成5年、山形大学病院に勤務していた自分は土曜日の午前中こちらで働かせて頂くことになりました。初代の病院の西の奥の細長い部屋で、助手の方に新患の訓練プログラムを書いて、やり方を指導するのが仕事でした。当時はとにかく療法士が少なく、まさにこのような仕事が当たり前で、多くの患者様を対応させていただきました。このように最初のころはリハビリテーションというにはおこがましい内容でしたが、その後しばらくして加速度的に療法士が増えました。（当時の助手もその後進学し今では立派な療法士になっています）

元々整形外科の患者様が多くリハビリのニーズも高かったこともあり、当会のリハビリは急成長しました。病院は手狭になり新館を増設しリハビリ病棟も開設、そしてこれに惚れた自分が移籍した翌年の平成18年には最初のリハセンターが出来ました。更にそこから10年もしない平成27年に全く違う現在の形へと進化しました。もちろん人数やハード面だけでなく最初の立ち上げから尽力し、人を育ててきた方々の功績が大きかったと思います。

この先どうなるのか、更なる進化が楽しみです。

みゆき会病院の今後 ～希望・期待する事、やりたい事～

リハビリセンター 副センター長 前田 智子



自分の医療職（作業療法士）としてのスタートは、【蔵王みゆき病院（みゆき会病院の旧名称）】からでした。採用になった頃は、まだ建物自体も完成しておらず、鉄筋むき出しの準備室という所で、リハビリを行うのに必要な備品の洗い出しと他院での研修が仕事の内容でした。今はみゆき会全体に約60名ほどもいるリハビリスタッフも、たった3名からのスタートでした。あれから30年、上山市の方々に貢献したいという当時の原田順二先生の熱い思いのお言葉を今も思い出します。

開院後15年～20年ほどは、病院の機能をいかに活性化させ地域の方々に利用して頂くか、という考え方が【地域貢献】を果たすための中心だったと思います。しかし現在は、国の政策である【地域包括ケアシステム】という流れに乗り、「地域の中で様々な医療・介護サービスを利用しながら生活して行く」という事を実現するため、我々の役割は何かを考えなければならない時代になりました。当初、私たちがよく耳にした【地域貢献】という考え方を次の段階に進める時期に来ていると考えます。

今後、病院で提供する医療は、地元地域の皆様のみならず近隣の市町村にお住まいの方々にも、よりよいサービスの提供ができるようになる事、また、病院を機軸に地域に飛び出し、更に生活に根ざした医療・介護のあり方を再考し実行していく事が必要と考えます。

今まで様々な人生観を教えてくださいました患者様・利用者様に対する感謝の気持ちを忘れずに、リハビリの専門職として、もっとできる事を考えていきたいと思えます。

2002年(平成14年)	2003年(平成15年)	2004年(平成16年)
<ul style="list-style-type: none"> • 特定医療法人に認可される • 外来予約PCシステム稼働 • 回復期リハビリテーション病棟設立 • 院内LANシステム導入 • 骨密度測定装置導入 • FCRバージョンアップ導入 • みゆきの丘増築 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域医療連携室設置 • 総合リハビリテーション • リハメイトシステム導入 • みゆきヘルパーステーション開設 • 有限会社ミユキ設立 • ケアハイムわかば、みどり開設 <div data-bbox="730 1877 1050 2063" data-label="Image"> </div> <p>ケアハイムわかば</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 外来歯科診療スタート • 放射線科開設 • パワーリハビリの取り組みと機器導入（みゆき会病院・みゆきの丘・紅寿の里） • サテライトデイサービスの展開に着手 • みゆきデイサービス金生開設 <div data-bbox="1082 1944 1501 2063" data-label="Image"> </div> <p>みゆきデイサービス金生</p>

みゆき会の今後 希望



放射線科
放射線技師 **羽柴 英樹**

私が入職後の30年間で、医療技術は各段に進歩しました。その間、医用画像システム、電子カルテ等が登場し、IT化の範囲が広がりました。電子カルテは医療効率、待ち時間の短縮、ミスの減少にもつながる為、できるだけ早期導入を実現したいと望んでおります。



3階西病棟
看護師 **村上 真弓**

自分の子供と同世代の職員と働ける時代になりました。平成も終わろうとしている中、入職時より変わらないのは、コミュニケーションが充実していること。患者様に対しても職員同士にしても、表情を見て会話をすることで、良好な人間関係を築けていると思っています。見えない相手の言葉に左右されず、会話で相手の考えを知り、尊重しながら仕事ができる環境が続くよう願っています。

私事、老化現象も日に日に進み、小言も多くなっている昨今、病棟のみんなに助けられながら仕事を続けていけることに感謝します。



薬剤科 薬剤師 **小川美都子**

「蔵王みゆき病院」から始まり30年苦労もあり楽しいこともあった30年当初はいろんな事が手さぐり状態で始めたことも、今では、当たり前の作業、手順になってきています。

何事も始めるときは、不安、不慣れもあるけれど、毎日繰り返し行うことで、からだに身についていきます。

今後も新しいことに挑戦し続けなければならない病院です。

しっかりと根付くように行動し、これからも発展し続けることを願います。



手術中材室
副主任看護師 **今野美千代**

手術室では患者さんや家族との関わりを持てるのが入院後になる為少ないと感じています。

もっと入院前から患者さんたちと関われるような環境があればいいと考えます。

スナップ写真






クアオルト健康ウォーキング



BLS講習会



花笠まつり (平成29年度)

2005年(平成17年)	2006年(平成18年)	2007年(平成19年)
<ul style="list-style-type: none"> 指定短期入所生活介護事業所みゆきの丘開設  <p>指定短期入所生活介護事業所みゆきの丘</p>	<ul style="list-style-type: none"> 財日本医療機能評価機構より病院機能評価の認定を受ける 蘇医院・通所リハビリテーション成沢開設 ミユキケアハイム河崎開設 リハビリセンター増築 1.5TMRI導入 グループホーム笑顔開設 通所リハビリテーションあかね開設 	<ul style="list-style-type: none"> 通所介護みゆきの園開設 通所リハビリテーションまんてん開設 通所介護なでしこ開設 

期待すること・やりたいこと



保育園 保育士 **長澤 裕美**

みゆき保育園に勤務して22年……初めて保育した園児の一人が、なんとみゆき病院の看護師として入職！思わぬ再会に感激！

今はまだ小さな子ども達。未知の可能性がいっぱいです。未来での活躍を期待しつつ、これからも保育を楽しんでいきます。



歯科
歯科衛生士 **二位関 綾**

患者様にとって病院とは治療やお見舞い、リハビリのために来院されると思いますが……

娯楽のために来院するという考えはどうでしょうか。スポーツジム、温泉、ボウリング等の複合施設を併設する。ついでに某コーヒーショップもあつたらいいなあ。



外来
副主任看護師 **吉田 淳子**

私は、糖尿病療養指導士という立場から、療養生活指導やフットケアをさせて頂いています。糖尿病患者の生活状況はひとり一人様々です。患者自身がいきいきと自律して生活できるよう携わっていききたいと思います。



回復期リハビリ理学療法科
副主任理学療法士

宇野 田実恵

今後のみゆき会に期待することは、医療制度改革や異動によって苦労しようとも、ここでひと咲かせたいと思える職場であることです。各職員に個々人の努力を求めるだけでなく、「各個人が安心して努力し続けられるような魅力ある組織としてのサポート」を今後も期待したいと思っています。

スナップ写真

地域医療連携室
勉強会



ナースステーション



手術室

2008年(平成20年)	2009年(平成21年)	2010年(平成22年)	2011年(平成23年)
<ul style="list-style-type: none"> 原田順二が会長に就任 介護予防教室スタート 糖尿病内科クリニック（後の南館クリニック）開設 通所リハビリテーション南館開設 	<ul style="list-style-type: none"> オーダリング導入 内視鏡室拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 医用画像管理システム（PACS）導入 臨床検査管理システム導入 グループホームこころ開設 ライフケアセンター南館開設 	<ul style="list-style-type: none"> 原田順二が理事長に就任 超音波診断装置更新 脊椎鏡視下手術システム（MED）導入 病院機能評価Ver 6.0 認定更新
 <p>南館クリニック</p>		 <p>ライフケアセンター南館</p>	

みゆき会の今後 希望・期待すること・やりたいこと



リハビリ病棟
ケアワーカー **加藤 琢也**

私がみゆき会に期待する事としては、まず職員の立場としては、給与面と休日を継続して安定してもらえる事です。

私個人としては自分なりにできる事を考えて、接遇面では患者様方に安心して相談してもらえるように気をつけていきたいと思ひます。また、医療・福祉の分野としては上山市のみならず、周辺の市町村の人達にとっても、継続した在宅生活をサポートできる組織になってほしいと思ひます。そして、自分も介護が必要になった時は身を委ねたいと思ひます。



リハビリ病棟
看護師 **庄司紗也加**

病棟でどんな時でも患者様に笑顔で接する先輩看護師の姿を目にします。笑顔はその場の雰囲気を明るくし患者様との信頼関係築きます。そこで私は今後、スタッフ全員がいつも笑顔で患者様に接することでより親しみやすいみゆき会病院になることを期待します。



3階東病棟
看護師 **渡邊 匠**

上山市に生まれ育った私にとって、病院が30年を迎えることはとても喜ばしく感じます。さらに地域に愛される病院

になってくれることを期待して、病院公認のマスコットキャラクター、ゆるキャラの作成を強く推したいと思ひます。WE LOVE みゆき会！



3階東病棟
ケアワーカー **武田 初美**

今後、介護士としての技術や知識を上げるために、病院での勉強会や研修に参加していきたいと思ひます。

希望として、病院での介護士向けの勉強会や研修を増やして欲しいです。

スナップ写真



看護部企画
ワークライフバランス
クリスマスイベント
開催



みゆき保育園
クリスマス会

2012年(平成24年)

- 全身用X線CT装置(16列)更新
- 在宅医療介護市民公開講座開催

平成24年度 山形県在宅医療推進モデル事業
在宅医療・介護市民公開講座
11/17(土) 14:30~17:10 入場無料

会場 上山市体育文化センターエコーホール

講演会 1 『高齢者ケアにおける介護者負担軽減への取り組み』
一多 美津子氏(みゆき会 在宅医療推進部長)

2 『おひかり〜基本由美子氏(15歳)の家族物語』
荒木由美子氏

2014年(平成26年)

- 社会医療法人に認可される
- 小児科開設(早坂清医師 着任)

社会医療法人みゆき会より

理事長 原田 龍二

ごあいさつ
この度、特定医療法人社団みゆき会が、山形県より社会医療法人の認定を受けたこと、平成二十六年四月より「社会医療法人社団みゆき会」に改称変更させて頂くこととなりました。これらと共に、地域の皆様と当法人連携に寄与したい関係者様をはじめとする多くの方々のご支援の賜であり、深く感謝申し上げます。

社会医療法人とは、これまで各自治体病院が行ってきた「公益性の取組」について、医療法人が取り組む、地域住民のニーズに応え、救急医療やへき地医療などを効率的に取り組んでいる法人です。

これからは公益性の取組、社会医療法人として、地域の皆様が安心して医療を受けることができるよう、公営性、透明性、事業の継続性を念頭に職員一同努力を怠りません所存でございます。

将来今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



早坂清

2015年(平成27年)

- 新病院完成
- 周辺の環境を整備し、病院正面近くに駐車場95台分整備
- 旧新館をリハビリセンターにリニューアル

リハビリセンター・リハビリ病棟リニューアルオープン

本館(旧新館)のリニューアルオープンに伴い、リハビリセンターとして生まれ変わる。リハビリ病棟も、最新の設備を整え、患者様の快適なリハビリを実現します。

リハビリセンターは、リハビリ病棟と一体的に機能し、患者様のリハビリをサポートします。また、リハビリ病棟も、最新の設備を整え、患者様の快適なリハビリを実現します。

病院理念

私たち「みゆき会は『専門的医療サービス』と『地域のニーズに即した高齢者・各世代へのトータルケアサービス』を提供します。」という理念のもと、高齢者だけでなく、小児や歯科、そして健診センターと、各世代に対応したサービスの提供を推進して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



病院外観

編集委員より みゆき会病院30年、そしてみゆきタイムズ27年に寄せて

みゆきタイムズ編集委員会委員長 **長岡 重幸**

みゆき会病院が開設して30年目。そして『みゆきタイムズ』も前身である広報紙「みゆき」が平成3年7月に創刊してから今年度で27年目を迎えました。みゆき会病院をより知っていただき顔の見える身近な関係づくりを目指し、諸先輩方の努力の継続で地域の皆様や関係機関へ情報を発信し続けて参りました。この30年記念号も数少ない資料をかき集め、また編集委員の大きな努力と原稿や資料を提供いただいた皆様方のご協力で発行することが出来ました。今日では、SNSが情報発信の中核になりつつありますが、診察の待ち時間やご高齢の皆様に取り取りゆっくりと眺めていただくことも、みゆきタイムズの大切な役割ではないかと考えます。これからも「手に取って眺めたい」みゆきタイムズを目指し、編集委員一同努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



2016年(平成28年)

- 武井寛が病院長に就任
- 訪問歯科診療スタート
- 山形脊椎センター長に杉田誠が就任



武井寛



杉田誠



訪問歯科診療

2017年(平成29年)

- 武井寛が理事長に就任(みゆき会病院病院長と兼務)
- 原田順二が参与に就任
- かみのやまクアオルト健康ウォーキング参加
- 病院機能評価(3rdG:Ver1.1)認定



かみのやまクアオルト



病院機能評価

2018年(平成30年)

- 3階西病棟(内科一般病棟)が地域包括ケア病棟へ
- 安藤常浩が病院長に就任
- あわせて、みゆき会常務理事に就任



安藤常浩

新任医師紹介(10月より)



内科(循環器) 石垣 大輔

10月より山形大学医学部附属病院(第一内科)から赴任しました石垣です。内科(循環器内科)を担当します。出身は山形県遊佐町です。3ヶ月間という短い間ですが、地域の皆様の健康維持をお手伝いできるよう努めて参ります。よろしくお願ひします。



整形外科 鈴木 真央

平成30年10月から、山形大学医学部附属病院(整形外科)より異動して参りました。少しでも皆様のお力になればと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

診療のご案内

平成30年10月～

外来受付時間 日曜日・祝日は休みです

	月	火	水	木	金	土
午前	8:30～12:00					8:30～12:00 【整形は8:30～11:00】
午後	14:00～16:30					休診

整形外科 外来担当医師一覧表 日曜日・祝日は休みです

	月	火	水	木	金	土
午前	平上 (新患外来)	土田 (新患外来)	土田(1・3・5週) 平上(2・4週) (新患外来)	脊椎センター 杉田 (新患外来)	石井 (新患外来)	常勤医師 交代
	土田	脊椎センター 杉田	石井	土田	平上	
	石井	原田	腰曲がり予防外来※1 武井	脊椎センター※1 武井	原田	
	鈴木	(第1週) 高木 9:30～11:30	中島(1・3・5週) 鈴木(2・4週)	鈴木		
午後	鈴木	平上	石井	原田		
	脊椎センター 杉田			脊椎センター 杉田		
	脊椎センター※1 武井		(第2週) 成田	脊椎センター※1 武井		

小児科※3 外来担当医師一覧表 日曜日・祝日は休みです

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後	早坂	早坂	佐藤(裕)	早坂	早坂	

内科 外来担当医師一覧表 日曜日・祝日は休みです

	月	火	水	木	金	土
午前	石垣	佐藤(徹)	石垣		佐藤(徹)	第1・3・5週…石垣 第2・4週…常勤医師
	三沢	安藤	三沢	國井	有本	山大脳外科3週のみ
	平田	佐藤(忍)	平田	佐藤(忍)	小山	
午後			佐藤(伸)	高窪	佐藤(伸)	
			石垣	佐藤(健) (1・3・5週) 安藤 (2・4週)		
		安藤 (1・3週)～4:00 (2・4・5週)～4:30	三沢	國井	有本	
	平田	加藤			禁煙外来※2 佐藤(忍)	
	佐藤(伸)		安藤	佐藤(伸)		

脳外科 外来担当医師一覧表 日曜日・祝日は休みです

	月	火	水	木	金	土
午前				山形大学 (10:00～12:00)		山形大学 (指定日のみ)

歯科 外来担当医師一覧表 日曜日・祝日は休みです

	月	火	水	木	金	土
午前	齋藤・佐藤(尚)が診察いたします。 (予約制)休診日については、歯科へお問い合わせください。					交代で診察 (予約制)
午後						

■学会等の都合により、担当が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※1…すべて完全予約制です。 ※2…午後2:00～2:30禁煙外来新患 午後2:30～4:30禁煙外来再来診察になります。

※3…予防接種の受付は午後4:00までです。

●健康診断は月曜日、木曜日、金曜日の午前(予約制)となっております。お電話でお問い合わせください。

得意とする分野	医師	こんな症状についてのご相談
整形外科	石井・成田・中島	膝の痛み、けが、変形など
手の外科・内反足	土田	肘から指先までと、足の全般的なけがや麻痺、変形など
脊椎・背骨・骨粗鬆症	武井・杉田	背骨の痛み・変形、手足のしびれなど
下肢・外傷	平上	四肢のけがなど
股関節・リウマチ・骨代謝	高木	リウマチ、股関節、足関節の痛みなど
整形外科全般	原田・鈴木	骨・関節・筋肉の痛み、けが、変形など
内科	佐藤(忍)・安藤・佐藤(健)	肺炎、気管支炎、喘息、いびき、日中の強い眠気など内科全般
呼吸器	佐藤(徹)	呼吸器外科領域
内科	有本・石垣	狭心症など心血管を中心とする病気。高血圧、不整脈など

得意とする分野	医師	こんな症状についてのご相談
内科	平田・小山・高窪	糖尿病・生活習慣病など内科全般
消化器	三沢	腹痛、食欲不振、嘔吐、下痢など胃腸の調子が悪いとき
血液内科	佐藤(伸)・加藤(裕)	血液疾患領域
神経内科	國井	神経内科疾患領域
小児科	早坂・佐藤(裕)	小児科一般
脳外科	山大医師	頭部、頭部外傷、けいれん、一時的な半身の麻痺、一時的に言葉が出ない時など
歯科	齋藤・佐藤(尚)	虫歯、歯周の腫れ、痛みなど歯科全般

みゆき会病院

〒999-3161 上山市弁天二丁目2-11 ☎023-672-8282
ホームページ <http://www.miyuki.or.jp/>

みゆき会

検索